

こどもたちの 夢と希望があふれるまち

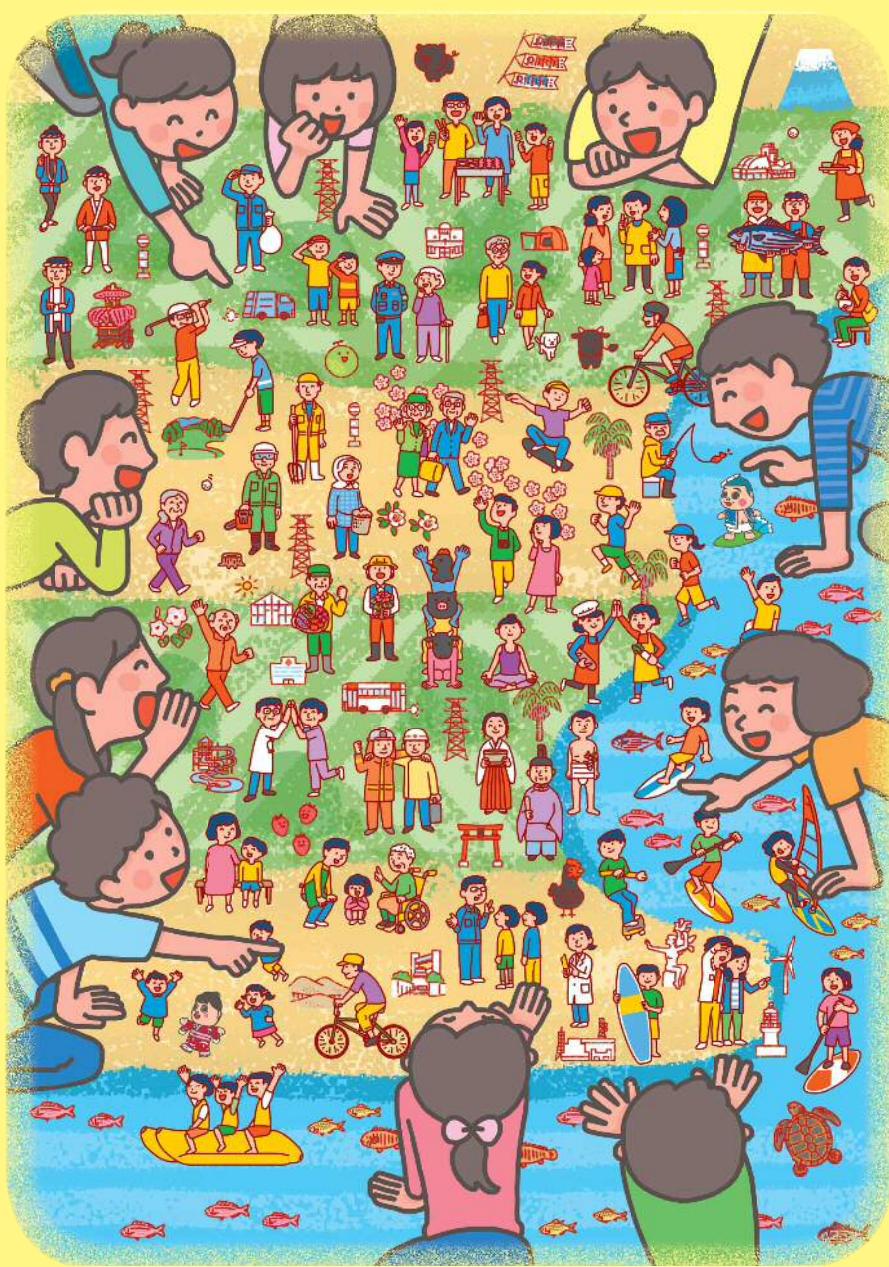
御前崎



この本は

10年後の2025年に
御前崎市をこんなまちに
したい！

という想いを込めた
『第2次御前崎市総合計画』を
描いたものです



『子どもたちの 夢と希望があるふれよまち おまえざき』

めざす
を**目指**して…



美しい自然を次世代へ引き継ぐ安全・安心なまち

御前崎市は、北に牧之原台地、東に駿河湾、南に遠州灘があり、

アカウミガメが産卵に来たり、ホタルなどの生物が住んでいたりと、

豊かな自然に恵まれたまちです。

このような豊かな自然を守り、

いつまでもその自然の恵みを受けることができるよう、

水の処理など、住みやすい環境をつくりていきます。

地震など災害への備えも大切です。

地域で計画をつくり、災害への準備をしておくことが必要です。

また、子どもやお年寄りが

交通事故にあったり、犯罪がおこらないように、

みんなで安全で安心なまちづくりに取り組んでいきます。



都市基盤

市民協働による居ごこちのよいまち

御前崎市のすばらしい景色や、豊かな自然の中で、

子どもからお年寄りまでくつろげる、

自然公園や地域の公園が

地域のいこいの場になるようにします。

また、道路、水路、建物などの整備も大事です。

みんなで協力して災害に強い安全で安心なまちをつくります。

公園や道路など御前崎市にとって大事なものは、

長持ちするよう大切に使い、

公園や道路の草取りやそうじなどにも、

みんなでいっしょに取り組みます。



健
康
福
祉

すべての人が健康で安心して暮らせる 支え合うまち

産まれてくる子どもの人数が少なくなり、
お年寄りが増えてくるこれからは、医療や福祉がますます大切になります。
子どもからお年寄りまでおたがいに支え合い、安心して暮らせる
福祉のまちづくりを進めます。
そのため、安心して出産や子育てができ、
年をとっても寝たきりにならないようなしくみをつくります。

また、市民がいつまでも健康でいられるような取り組みをしたり、
病気になったときにも安心して治療が受けられるような
しくみづくりが必要です。
生活に困っているひと
安心して社会の活動に参加できるようなまちづくりを進めます。

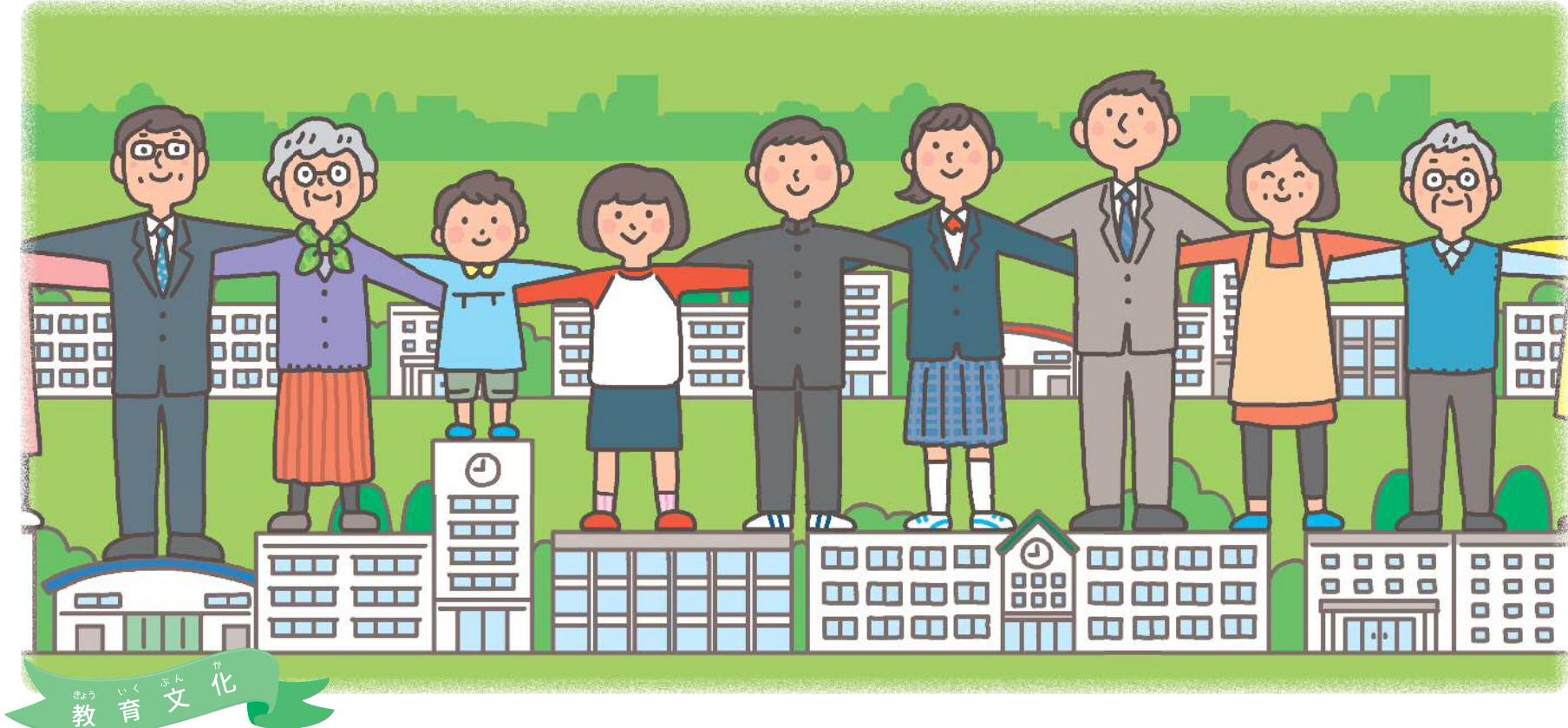


はたらば 働く場所とにぎわいがたくさんあります

御前崎市には青い海と御前崎灯台などの全国でも有名な観光地があります。

マリンスポーツをはじめ、
農業や漁業を生かした実際に体験することができる観光を進め、
たくさんの人が御前崎市へ来てくれるようになります。
また、お茶・イチゴ・花・牛肉・カツオなど、
たくさんの特産物をもっと魅力あるものにします。

商業や工業の成長も大切です。
今あるものを組み合わせて新しい産業を生み出したり、
今の産業をもっと成長させることが必要です。
新しい会社をつくる取り組みや、
みなとの魅力を生かして
たくさんの会社が御前崎市に来てもらえるようにします。



教育文化

郷土を愛し未来を創る人づくり

御前崎市の豊かな自然や歴史、文化について学ぶことで、
御前崎市を自慢に思う気持ちや大好きだという気持ち、
そしてこれからも住み続けたい、という気持ちを育てます。
同時に、一人一人が御前崎市のよりよい未来と、
より豊かな自分の人生を切り開いていける力を持った人になることを
目指します。

そのために、保育園や幼稚園、こども園、学校、家庭、地域、行政が
一體となって取り組むスクラムプランで
子どもの成長を支えます。
また、誰もがいつでもどこでも御前崎の歴史や文化を学ぶことができる
「学びの場や環境」を整えます。



市民とともに経営する自律したまち

これからの中社会は、産まれてくる子どもの人数が少なくなり、
人口が減ることが予想されています。

こうした社会では、限られたお金を使ってみんなが活躍できるように
未来のことを考えた“経営の視点”がいっそう大切です。

そこで、市民や地域、まちづくり団体などと
行政が今まで以上に力を合わせて取り組むことが必要です。

これからも豊かな御前崎市を引き継いでいくために、
「ひと」「もの」「お金」「情報」を
上手に活用してまちづくりに取り組みます。

ひと ひと うみ みどり お まえ ざき し
人と人とが支え合い、海と緑に囲まれた自然豊かな御前崎市では、

多くの世代がまちづくりに関わることで、

御前崎市の素晴らしい自然と文化は次の世代へと引き継がれていきます。

子どもからお年寄りまでみんなが手を取り合って、

だれ あんしん す
誰もが安心して住みやすいまち。

わたし おとな こ おまえざき し す
私たち大人は子どもたちに御前崎市をずっと好きでいてほしいと願っています。

しようと ゆめ えがき き ぱう いいた
そのためには、子どもたちが将来の夢を描き、希望を抱けることが大切です。

あふれる子どもたちの夢や希望は、世代を超えてまちづくりの力になります。

とし かさ おや み こ
年を重ねても親から見れば子どもはいつまでも子どもであり、

おとぎ サ なか み そだ こ
大人たちの背中を見て育つ子どもの笑顔は、

かがや み らい
輝かしい未来へつながります。

わたし おとな ざ も せきにん は
私たち大人がその義務と責任をしっかりと果たすことで、

じりつ お まえ ざき し
「自律」した御前崎市を

し みん ち いざ ぎょうせい れんけい
市民・地域・行政が連携してつくります。

この本は、10年後の2025年に御前崎市をこんなまちにしたい！という
思いを込めた『第2次御前崎市総合計画』を描いたものです。

これから御前崎市のまちづくりについて、誰もがわかりやすく理解
していただくために作成しました。

御前崎市

御前崎市 秘書政策課

〒437-1692 御前崎市池新田5585番地

☎ 0537-85-1161 FAX 0537-85-1136

<http://www.city.omaezaki.shizuoka.jp>

発行：平成28年3月